

2019Japan National Team Report ” サポーター”



報告者氏名	中島 文睦
大会名	北米選手権
開催地	バハマ ナッソー
大会期間	9/27～10/3

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、JODA海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後に、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく客観的な立場から、詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい

開催地域の様子	バハマの首都ナッソー、美しいカリブ海に浮かぶリゾート島。 会場はナッソーヨットクラブ、海面は、モンタギュー湾沖。 今回、天候にも恵まれた。
宿泊場所	ザ コーラル アット アトランティス。(選手と同じ) ニュープロビデンス島の北端に位置するナッソー市の海岸沖に位置するパラダイスアイランドにある。
大会のサポーターへの対応は	会場のナッソーヨットクラブは、サポーターが自由に出入りで出来た。朝夕食も予約さえすれば選手と一緒に撮ることが出来た。
選手たちのコンディションいつもとどうでしたか？	食生活は、いつもと違うが、大きく食欲を無くすような選手はいなかった。
サポーターとして気をつけたことは？	選手の気持ちを崩さぬよう気を付けた。
海外の選手を見て感じたことは？	セーリングを海の遊びの延長とし楽しんでいるように思えた。軽装の子も多く、素手・素足は普通で水着にライフジャケットのみの選手もいた。 大会側が用意したバスや食事に拘ることなく、移動や食事を自由にする事で空いている時間を有効に使っていた。
日本の選手を見て感じたことは？	6人とも陸上でもとても元気で、他国の選手にも臆することなく接していたように思えた。陸上の日本チームの周りには、常に「必勝」鉢巻狙いの他国選手の取り巻きが出来ていた。

Spare dayの過ごし方は？	設定なし。
日本チームとしての課題はありましたか	強いて言えば、言葉と思います。
JODAへの要望	特にありません。
その他	選手権枠確定から短期間で選手の招集に努めて頂いたJODA役員の方々に感謝します。また認定証の授与式を個々に行っていただいたのは、選手にとってもとても励みになったと思います。

ご協力ありがとうございました
JODA海外派遣委員会